

意見	
館山市	<p>・計画の目標を明確にしていきたい。</p> <p>防除計画といってしまうと、被害を0にできれば特定外来生物との共存も選択肢のうちという結論もありと思える。生息数を0にすることを明確にしていきたい、計画期間内で生息数と捕獲数を数値化して進捗状況が評価できるようにしていきたい。</p>
	<p>・特定外来生物としての取扱いについて</p> <p>集中防除区域の外にいる交雑個体については、ニホンザルの問題として対応するということだが、集中防除区域内の個体も1995年の生息確認以来、すでに25年が経過している時点で純血のアカゲザルは残存せず、すべて交雑個体となっている可能性もある。であれば、ニホンザルの防除計画と一本化し、市町村の駆除が行ないやすくする方向性で計画しても良いのではないかと。ドローンとテレメーターを併用すれば、猟友会による一斉捕獲も可能と考える。</p>
	<p>・防除の実施体制について</p> <p>現在、防除計画に基づく事業実施者は県と委託業者のみとなっているが、防除実施者として地元農業者等の被害住民を加えていただき、住民も追い払い・捕獲を担うことと、県が防除の手段を指導することを計画に含めていただきたい。</p>
南房総市	<p>目標については、現計画にもあるように「速やかな全頭捕獲」が最終目標となると思いますが、これまで継続的に捕獲してきたにもかかわらず群れ数は増加の一途をたどり、生息域も拡大し、生息数も減少したとはいいい難い状況である。そのため、実施体制の強化、見直しや集中防除区域内での封じ込め対策について検討してほしい。また、計画にある防除内容の検証結果をもとに、「速やかに」計画の実施をしていただきたい。目標には、ロードマップを示すとともに数値目標があった方が分かりやすいと思う。</p>
	<p>現計画には、群れの生息域の図面がないので図面があった方がよい。</p>
	<p>農作物被害対策として追い払い講習会を開催しているが、そうした対策についても計画にあった方がよい。</p>
	<p>現計画の検証・評価を市へも情報提供してほしい</p>